

西之内町地車新調 実行委員会通信

西之内町新調鳴物

制作委託契約締結

桃の香り麗しい春分の候、西之内町の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、当月も西之内町地車新調実行委員会の活動内容をご報告いたします。

令和3年2月に、株式会社浅野太鼓楽器店さまと新調鳴物の契約を締結いたしました。

祭礼時には、各町の太鼓の音色にお気づきでしょうか。あの町の太鼓はいい音がなっているとか、響いているとかの結果や評判に、各町は非常に苦労をかさねており、西之内町の鳴り物に關しても例外ではございませんでした。現在使用のものも、往年の青年団員の苦勞によつて築き上げてきたもので、このこだわりについては、過去、現在と変わりが無い物と感じます。

そのような歴史の中、改めて浅野太鼓さまと契約に至り、新しい西之内町の鳴物歴史の1ページが刻まれました。今後の太鼓

2021年
3月号

新調通信に關する御問ひ合わせ
西之内町公民館
072・444・7712

制作についての報告にご期待ください。



太鼓の胴のサンプル

祭礼の時には、だんじりに積み込んでいますので、お目にかかれませんが、このような色になっております。仕上がりにお楽しみに



契約調印

寺河内町会長と浅野社長

新調地車の彫り物

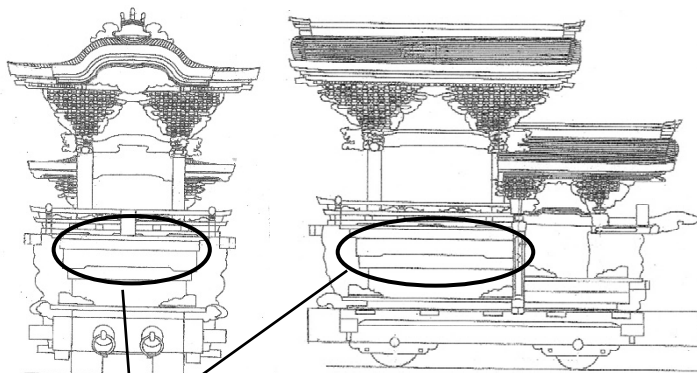
進捗報告

先月の通信では、地車腰周り連子部の着手の報告をさせていたいただきました。

新調地車の腰周り部分の題材は大坂の役にて統一して検討しております。大坂の役とは戦国時代の最新の合戦であり、慶長3年（1598年）に榮華を誇った豊臣秀吉公が『露と落ち 露と消えにし 我が身かな 浪速のことも夢のまた夢』という有名な辞世の句を残し他界したことから徳川家康公が、天下統一を目論んだ合戦であります。

徳川家康公に關しては、江戸幕府を開いた源氏であります。この大阪では評判が悪く伝わっておりません。大坂の役を快調な口調で話す講談などの演目（難波戦記）では、何度も命からがら逃げ惑う徳川家康公の逸話が多く伝わっておりますが、そこは『講釈師見てきたようなウソをつく』といわれたもので、どこまでが史実であるかは別物です。

西之内町の新調地車においても、史実もあれば逸話として豊臣最前代で伝わっている大阪の地ならではのお話も取り入れて検討しております。大坂の役にて活躍した武将の戦場での活躍や戦記物語をはじめ、大阪城内や京都での逸話などを関係する図書などから探し出し、それを彫刻という形にて表現します。地車の彫り物に關しては、その中でも主人公の手に持っていた武



上から縁葛、大連子、小連子

具（刀、槍、甲冑、旗指物など）にて人物を表現しており、その部分の調査だけでも人物の数だけ調べることとなり、膨大な時間をかけております。

また大坂の役の場所にちなんだ樹木や建物は、大坂の役ならではのものではないかと考えます。大坂冬の役にて難攻不落を誇った大坂城のお濠が埋められ、戦国史上最大動員人数ともいわれる大坂夏の陣は、河内方面、八尾方面、和泉方面で展開されており、現存の建物もその当時にはあったものもあります。今回の彫り物では、そのようなところにも注目し検討しております。

今現在、山本師との彫り物の打ち合わせにおいて、先述でもありました内容を確認し進めております。腰周りの彫り物の進捗は、下絵確認後の荒彫りに着手しております。一つ一つの作業により、西之内町の次の世代に残る一品生産である地車の完成に近づいてまいります。引き続き、新調実行委員会にご支援とご協力をお願い申し上げます。



木彫山本の工房
山本師のお弟子さんが一つ一つ丁寧に手掛けております。

新調地車の装飾品

制作状況報告

たかだ呉服店さんからの制作状況の進捗報告が委員会に届きましたのでご報告します。

旗の制作状況は、旗の生地を織っている段階です。今回の旗の生地は、西陣織の最高級仕様にて制作しており、生地の色に関しては、西之内町のイメージカラーを採用しております。御祭禮幟、町名旗、吹き散りに関しても生地の出來栄えにより、地車の雰囲気が大きく左右されますので、制作工程では入念な傷の確認を行いながら進めております。

旗の先端に取り付けているものを旗頭といいます。この旗頭に関しては、町の意匠を用いており、現在は、その意匠のサイズや縁取りとの間隔などを設計しています。大ききの異なる意匠比較にて絢爛豪華な見栄えとなるかなどを検討しております。

旗の生地や旗頭など、細部の仕様に関して丁寧な仕上げにこだわって作成しております。仕上がった際には、ご覧いただき、刺繍職人さん、金物職人さんの細かい手作業をご堪能ください。

委員会の独り言

映画、舞台などで新作ものが発表され興行収入が話題になる。それは、人の観たいという感情をコントロールした結果であると、テレビ番組で取り上げられておりました。

そこで、新調通信で制作中の地車のネタバレにならない程度で皆様にお知らせし、新調地車への期待を大きくできればと思います。

とは思っても、この記事を書いておりますのも素人のすることですので、不甲斐ない点はお許しいただければ幸いです。

新調通信のバックナンバーは
以下で閲覧できます。

西之内町地車新調実行委員会

検索

